



つなごちゃんだより

2023年度
2月号



〒177-0045 練馬区石神井台3丁目31番4号 小規模保育園手をつなご石神井台

TEL 03(6767)1204

1月1日に起きた大災害から早くも1か月たちました。いまだにたくさんの方が、困難や不便の中での生活を強いられています。迅速な対応を願わずにられません。今月は、災害が起きた時の保育園の対応について載せています。ご不明なことがありましたら、遠慮なくおっしゃってください。

子どもたちの命を全力を挙げて守れるように、訓練と準備をしておきたいと思います。

先日八ヶ岳の麓に移住している保育の先輩を訪ねました。今でも私が若者に見えるらしく、私が「家事手伝い」をしていると「あな、何やってんの。落ち着かないから座りなさい」とご指導？が飛んできます。保育士の配置基準について、「4・5歳児は30人に対して保育士1人だったけれど、25人に対して1人になりそうだ」と伝えたり、最近の保育の状況をたくさん話しました。私が担任した子どものお父さんも会いに来てくれました。この方も移住して古民家に住んでいます。生活保護の受付業務やケースワーカーを長くやっていたので、「困ったことがあったら、相談する権利が誰にでもある。生活保護も権利として当然受けられるんだよ。私たちは権利の主体者なんだということを若い人に伝えたいなと思うよ」とおっしゃっていました。熱く語り、自分のできることをしていこうと気持ちを新たにしました。 園長 浦山恵美子



今月のねらい

- *生活の見通しを持って、自分で次の行動を起こせるようにしていく
- *遊びや生活を通して相手にいろいろな思いがあることを知る
- *友だちといっしょに表現する遊びを楽しむ



知っておこう

おう吐物の処理

冬場に流行するウイルス性胃腸炎は、ノロウイルスやロタウイルスなどによって感染します。家庭でも二次感染予防のために、おう吐物の処理にご留意ください。

- ① 窓を開けて使い捨ての手袋とマスクを着け、使い捨ての布などでおう吐物を周辺からふき取る。
- ② 次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤）を薄めた消毒液で、おう吐物のあった部分を再度ふく。汚れた物はすべてポリ袋に入れ、それらは、消毒液をかけてから密封して捨てる。
- ③ おう吐物の付いた服は、85℃以上の熱湯に1分間つけてから洗濯する。
- ④ さらに乾燥機にかけたり、アイロンをかけたりすると、熱に弱いノロウイルスは死滅しやすい。



今月の予定

- 2日（金） 節分の行事
- 9日（金） 保護者会 16:00~17:30
- 15日（木） 避難訓練
- 21日（水） 身体計測
- 29日（木） 運営委員会

*12日（月）、23日（金）は
祝日のため保育園はお休みです

目を大切に

近視の多くは小学3~4年生で発症します。しかし最近では低年齢化が進み6歳未満でも近視になることがあるそうです。

- *本と目の間隔を30センチ以上離す
 - *左右均等な距離で読む
 - *背筋をしっかりと伸ばす
 - *明るいところで読む（暗いところで寝ながらの読書やゲームは×）
 - *近くを見続けるときには20~30分に1回は遠くを見る
- こんなことに気を付けましょう。



こちらのQRコードから保育園の
ホームページ・おたよりをご覧になれます。



子どもの様子

1月のある日のお散歩準備風景です

早々と支度ができたHくんがみんなの靴をかごから出してきれいに並べています。靴下がうまく履けなくて困っているお友だちに気が付いたNちゃんは、自分の支度はさておき、お友だちが靴下を履けるようにお手伝いを始めました。ロッカーの前では思うように洋服が着られなくて悔しくて泣いているお友だちが・・・Yzちゃんがティッシュを取りに行き、そっと涙を拭いてあげていました。そのお隣に立って「どうしたの？だいじょうぶ？」と心配そうな表情で声をかけるKちゃんもいます。上着のファスナーを自分でしようと頑張っているKiくん。大人が手伝おうと手を差し伸べますが、自分で納得行くまで頑張っていました。みんなの支度が出来たら「いってきまーす！」

お散歩からかえってくると・・・

サクサクと一番に着替え終えたRくん。テーブルに置いてある台拭きを見て、3つのテーブルを隅々まで拭き始めました。するとそれに気づいたAくんとYrちゃんがお友だちのタオルをそれぞれの席に配っています。幼児クラスの給食当番さんのような3人でした。Iくんも急いで服を脱ぎ、新しい服を着てテーブルに到着。「あ！ Iくん、服」と声をかけられると「あ、わすれてた。エヘッ！」と戻り脱いだままになっていた服をロッカーに入れていました。自分のペースで着替えているKtくん。ゆっくりですがすべて自分でやりきりテーブルについていました。そして一番最後にテーブルについたHちゃんは、大きな声で「いただきます」とご挨拶。

新しい年が始まり、子どもたちの成長を毎日感じています。

大災害が起きた時保育園では

子どもたちを保育士のところに集める



園舎無事：園舎に留まる

保護保育に切り替える。すぐに避難できるようにして過ごす

保護者のお迎え：緊急時園児引き渡し表にお名前が載っていない方にはお返ししません。ご確認ください。

保育園では約3日分の食料と水を備蓄しています。お迎えがあるまで、お子さんを保護しています。

大災害が起きた時の *家族の連絡方法
*家族の集合場所 *子どものお迎えを
どうするかなど 確認しておきましょう

地震発生

保育園から情報発信

災害用伝言ダイヤル
災害用伝言版 Web171
公式ライン
3つのツールで発信します

伝言ダイヤル・伝言板・ラインに返信しない／保育園に電話をしないようご協力ください。

火災発生または
園舎倒壊の恐れあり

石神井中学校に避難



垂れ下がる電線
ブロック塀の倒壊
倒木・落枝などに注意して移動

避難途中では引き渡しません

*路上に留まるのは危険であること
*書類を出し、確認してから引き渡します。避難途中で会った場合、避難所まで一緒に来ていただくことを基本的にさせていただきます。